

【科目名】		基礎ゼミⅢ		【担当教員】	長谷川 裕 浅海 岩生
【授業区分】	教養分野(導入教育)	【授業コード】	1-00-0016-0-1	(メールアドレス)	
【開講時期】	通年(前期)	【選択必修】	必修	hasegawa.y@nur05.onmicrosoft.com	
【単位数】	1	【コマ数】	30コマ	(オフィスアワー) 月～金 13:00-13:20	
【注意事項】					
(受講者に関わる情報・履修条件)					
・この科目は基礎ゼミⅢ・Ⅳのセット履修となっています。 ・指定された担当教員と連絡を取り実施日程を調整すること。 ・障害等があって配慮が必要な学生は事前に相談することを推奨します。 ・本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。精神科領域で作業療法士として従事してきた経験から、他者とのコミュニケーション・協力・役割分担をしながら課題を解決する体験の場を構成して、講じていきます。					
(受講のルールに関わる情報・予備知識)					
・試験結果・レポートは他に支障のない限り返却します。 ・本科目の単位付与の条件としてエルコアを受講完了し証明書の提出が必要です。 ・この授業はアクティブラーニングを用います。 ・生成AI 使用ルール：提出課題、発表用資料での直接的な使用（生成AIの文章等の複写等）は禁止します。アイデアを得るための使用は認めます。生成Aiから得た情報は必ず、文献、書籍等他の資料で確認してください。					
【講義概要】					
(目的)					
将来の福祉・医療現場では、日々他者と接触しながら、多くの人間関係の中で仕事を行っている。その場合、基礎学力や専門知識・技術は云うに及ばず、他者とのコミュニケーション能力、及び迅速かつ適切な実行力が求められる。このゼミでは、いわゆる「社会人としての基礎力」、「課題解決していく能力」を身につけることを目的とする。本科目は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」関連の科目です。					
・当該科目と学位授与方針等との関連性； A-2,3					
(方法)					
このゼミでは、専攻に関わらず、全学生を少人数グループに分けて実施する。各グループ毎に学生自らが地域に係るテーマ、医療・科学に係るテーマを設定し、調査活動やボランティア活動を実施し、多様な他者との関わり通して協同・協力について学ぶ。本科目では主として「文献研究」、「調査・研究計画」、「医療倫理(e-learning)」などについてゼミ活動をおこなう。得られたデータの解析に数理データサイエンスを取り入れる。非営利組織等の実データを取り扱い、課題解決のためのデータ分析等の実践的な学習をおこなう。					
【一般教育目標(GIO)】					
・他者とのコミュニケーションの取り方・協力の重要性について学ぶ。 ・他者と協力、役割分担をしながら課題を解決する体験を得る。					
【行動目標(SBO)】					
・他者との円滑なコミュニケーションや協力関係が樹立できる。 ・調査・研究の基礎的知識を得る。 ・数理データサイエンスの習熟のため、Power BIを学習する。 ・e-learningとしてエルコアを授業の教材として用い、「医療倫理」についての受講を完了することができる ・グループ活動での体験を参考に、キャリア支援セミナーに参加してキャリア形成について考えることができる。					
【教科書・リザーブドブック】					
・必要に応じ資料を配付する。					
【参考書】					
・必要に応じ資料を配付する。					
【評価に関わる情報】					
(評価の基準・方法)					
・成績評価基準は本学学則規定のGPA 制度に従う。 ・ゼミ担当教員による個別評価（グループ発表、最終レポート、学修に取り組む姿勢）、エルコア受講完了証明書の提出 ・レポート、成果発表、ポートフォリオの内容にて評価を行います。 ・レポートの返却は行いません。 ・出席点は評価に含みません。					

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合				30	30		10	30	100
評価指標	取り込む力・知識			15					15
	思考・推論・創造の力			15					15
	コラボレーションとリーダーシップ				20			10	30
	発表力				10				10
	学修に取り組む姿勢						10	20	30

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1	・オリエンテーション ・研究倫理について(e-learningエルコアの方法)	講義・長谷川	・各自行いたい研究テーマを3つ考えておく。 ・研究倫理について復習する。	15分 15分
2, 3	ゼミ活動-1 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
4, 5	ゼミ活動-2 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
6, 7, 8	エルコアの実施	演習	担当教員の指示に従ってください。	30
9, 10	Power BI①Power BIの概要と基本操作	配信・浅海先生	担当教員の指示に従ってください。	30
11, 12	ゼミ活動-3 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
13, 14	Power BI②Excelデータの取り込みとクエリ	配信・浅海先生	担当教員の指示に従ってください。	30
15, 16	Power BI③数表とフィルターリング	配信・浅海先生	担当教員の指示に従ってください。	30

17, 18	Power BI④グラフ表示と書式設定	配信・浅海先生	担当教員の指示に従ってください。	30
19, 20	ゼミ活動-4 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
21, 22	ゼミ活動-5 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
23, 24	ゼミ活動-6 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
25, 26	ゼミ活動-7 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
27, 28	ゼミ活動-8 (スケジュールは、ゼミ教員、ゼミ生で設定) ・ゼミ内での中間発表 (8月9日までに実施)	担当教員・グループ学修	担当教員の指示に従ってください。	30
29, 30	キャリア支援セミナー 「私と社会の未来を考えるキャリアガイダンス」	キャリア担当教員	キャリア担当教員の指示に従ってください。	30

【科目名】基礎ゼミⅠ		【担当教員】星野 浩通
【授業区分】教養分野(導入教育)	【授業コード】1-00-0000-1	(メールアドレス)
【開講時期】通年(前期)	【選択必修】必修	hoshino@nur05.onmicrosoft.com
【単位数】1	【コマ数】30	(オフィスアワー) 月～木曜日の8:30～9:20
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) この科目は社会人としての協調性やコミュニケーション能力、学習の方法を養う科目です。本科目は、理学療法士として実務経験のある教員による科目です。病院、施設など社会環境の中で体験したことから、学習方法、協調性の大切やコミュニケーションの取り方について学んでいきます。また、各専攻のホームルームを通して、大学での教育、職業理解についてを理解します。講義形態はアクティブラーニングと講義・演習で構成されます。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) この講義は全専攻で行う全体講義と、各専攻で行うホームルームがあります。学外から講師に来ていただくこともあります。その為、シラバスの講義順が変更になることがあります。生成AIの利用は禁止しています。授業内での利用は厳禁となっており、このルールに違反した場合は、学内の規程に則って、適切な措置を取ります。 *障がい等の合理的な配慮が必要な学生は教員と事前に相談してください。 作成したレポート・課題については大学にて保管し、返却はしません。担当する教員で共有いたします。		
【講義概要】 (目的) 大学教育のはじめにあたり、これからの生活や学習への心構え、学習環境の理解や利用方法、健康的な生活のための知識を学習する。また、臨床実習や就職後の職場環境に柔軟に対応・適応すべく、社会人・職業人としての心構えや行動様式を理解し、実践、習慣化できるようにする。また地域社会への参加などを通じて社会人としての基礎を養う。 当該科目と学位授与方針等との関連性：A-1, P-1, O-1, S-3, R-1 (方法) この科目は、アクティブラーニングを中心としてグループワークやディスカッションを行います。 また、「大学生・医療人としての心構え」、「大学生としてのマナーの基本」、「図書館の利用と文献検索の仕方」などを講義します。		
【一般教育目標(GIO)】 ・大学生や医療人に必要とされる協調性、コミュニケーション能力などの資質を修得する。 ・大学生活に必要な知識を修得する。 ・目標を達成させるための手段を身につける。 【行動目標(SB0)】 ・大学生として必要な行動ができるようになる ・集団活動の中で協調した行動が実施できる。		
【教科書・リザーブドブック】 必要に応じて、資料を配布		
【参考書】 特になし		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定のGPA 制度に従う。 出席点は評価に含みません。 レポート、ポートフォリオの内容にて評価を行います。 レポートの返却は行いません。		

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合				40			40	20	100
評価指標	取り込む力・知識			10			10	10	30
	思考・推論・創造の力			10			10		20
	コラボレーションとリーダーシップ			10			10		20
	発表力			5			5		10
	学修に取り組む姿勢			5			5	10	20

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1	オリエンテーション 自己紹介 動機付け	講義・アクティブラーニング 星野浩通 PT1年生教室	配布資料	15分
2	学生生活について 大学で学ぶ準備	講義・アクティブラーニング 星野浩通 PT1年生教室	配布資料	15分
3・4	大学生活について インターネットセキュリティについて セキュリティ登録の方法	講義・アクティブラーニング 木村和樹（星野浩通） PT1年生教室	配布資料	15分
5・6	自己理解（マイナビ）	講義・アクティブラーニング 外部講師（星野浩通） PT1年生教室	配布資料	15分
7・8	租税教室	講義 外部講師（星野浩通） PT1年生教室	配布資料	15分
9・10	レポート作成について	講義 （星野浩通） PT1年生教室	配布資料	15分
11.12	大学生活を送る中での食育について	講義 外部講師（星野浩通） PT1年生教室	配布資料	15分
13・14	図書館の利用方法。文献検索	講義 図書館職員（星野浩通） PT1年生教室	配布資料	15分

[illegible]